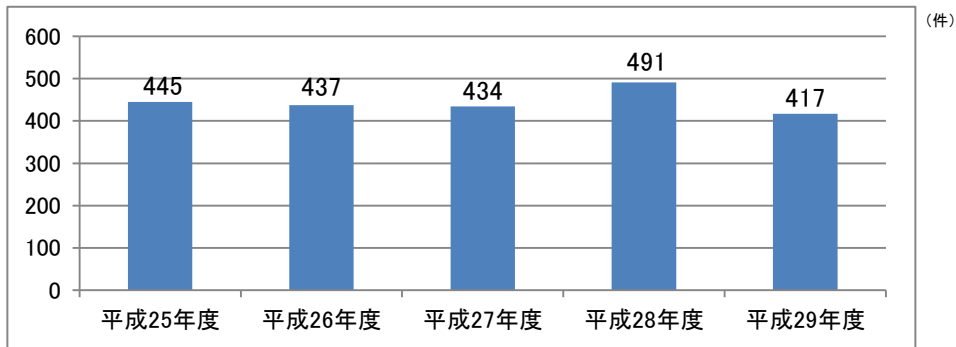


18 術中迅速病理組織診断件数

○項目の解説

正確で迅速な病理診断は、時として手術中に必要となることがあり、それに基づいて病巣切除の適否または切除範囲が決められます。そのためには、限られた時間内に切除された標本を処理し、迅速かつ正確な診断のできる熟練病理医と設備が病院内に必要となります。件数が増加するほど、これらの機能が充実していることを表現しています。

○当院の実績



○当院の自己点検評価

一昨年度から、エビデンスにより不要といわれている術中迅速病理組織検査をなくすように努力してきましたが、平成29年度はやっとその成果が現れました。一般に、不要な術中迅速検査は、無駄な医療費の増加、正確な最終病理診断の妨げとなり、その適応は十分に吟味されないといけません。病理組織件数の著明な増加を考慮すると、術中に診断されるのではなく術前に的確に診断された症例が多くなった可能性もあります。

○定義

医科診療報酬点数表における、「N003術中迅速病理組織標本作製(T-M/OP)、N003-2術中迅速細胞診」の算定件数です。

○算式

実数